

児童委員・主任児童委員の参考とすべき特徴的な取組 「こんにちは赤ちゃん訪問」(埼玉県狭山市)

■ 埼玉県狭山市の主要データ

基礎データ (直近年月日)	人口:151,725人 世帯数:68,780世帯 学校数:公立小学校15校、公立中学校8校
児童委員・主任 児童委員の数	児童委員:定数222人/委嘱者数219人 主任児童委員:定数22人/委嘱者数21人



■ 取組(活動)のポイント、留意点

ご近所の民生委員・児童委員が訪問していただくことで、不在の場合にも、時間や曜日を変え、数回訪問していただくことが可能となり、面会率が高い。また、民生委員・児童委員と顔見知りの関係になれるだけでなく、転入者などには地域の情報などを提供し、安心して地域で子育てができるように支援している。

■ 取組(活動)による効果

生後2か月時の訪問により、育児に不安のある母親を保健センターにつなげることで、早期の支援が可能となり、安心を提供するとともに地域での孤立化を予防できる。

■ 取組(活動)概要

各地区で毎月開催される民生委員・児童委員定例会にて、保健センターから「こんにちは赤ちゃん訪問」の依頼を受け、生後2か月の赤ちゃんのいるすべてのご家庭に、地区の民生委員・児童委員が伺い、4か月児健康診査票を届けるとともに、赤ちゃんのご様子や保護者の健康状態、育児不安などの確認をし、保健センターにつないでいる。

■ 取組(活動)の主催団体

狭山市保健センター

■ 主な実施場所

生後2か月の赤ちゃんのいる家庭

■ 児童委員・主任児童委員の役割、関わり

生後2か月の赤ちゃんのいるすべてのご家庭に、地区の民生委員・児童委員が伺い、4か月児健康診査票を届けると同時に、赤ちゃんの様子や保護者の健康状態、育児不安の確認をし、その結果を保健センターに報告する。

■ 取組(活動)のきっかけ、経緯

子ども・子育て支援事業として「乳児家庭全戸訪問事業」を保健センターが実施するにあたり、訪問者として、保健師、助産師のほか、地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員を位置づけ、平成19年6月より事業を開始した。

■ 今後の展望・課題

民生委員・児童委員の担い手が不足している。